

活動テーマ

# 車いす利用者のファッションショーを行い、おしゃれを通しての社会参加と地域交流 ～Welfare-Collectionの取り組み～

兵庫県

## 社会福祉法人 円勝会

〒679-4132 たつの市誉田町福田780-3 TEL. 0791-63-2700 FAX. 0791-62-0463

取り組み内容のポイント

車いすに乗っておしゃれをしよう!!をテーマに県立龍野北高校総合福祉科の生徒と入所利用者が、話し合いながら機能性や利便性に考慮したおしゃれな衣類を考案し制作する。加えて、交流を通じてお互いを尊重し合える関係作りを行っていく。

### 活動内容

- 活動開始年  
平成25(2013)年4月
- 活動の対象者  
入所利用者：高校生、地域住民
- 活動の頻度・時間  
月2回  
1回あたり2～3時間

### 取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款記載の有無 記載していない
- ②事業報告・計画への記載 記載している

### 取り組みを実施している施設の概要

- 【施設名】  
・西はりまリハビリテーションセンター
- 【施設種別及び利用定員】  
・障害者支援施設………50名

### 法人設立年

昭和62(1987)年

### 法人実施事業

- ①経営施設数合計：7施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：
  - ・障害者支援施設 2か所
  - ・介護老人福祉施設 2か所
  - ・小規模多機能型居宅介護施設 2か所
  - ・通所介護事業 2か所
  - ・老人短期入所事業 2か所
  - ・地域包括支援センター 1か所
  - ・障害福祉サービス事業 5か所
  - ・障害者グループホーム事業 24か所

### 法人の理念・経営方針

ノーマライゼーションと人権尊重の理念に基づき、専門的なサービスを提供することによって利用者一人ひとりが尊厳をもってその人らしい安心のある生活が送れるよう自立を支援していきます。

### 活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人の運営する西はりまリハビリテーションセンターは障害者支援施設であり機能訓練を中心として重度の肢体不自由者を対象に、社会復帰や在宅復帰を支援している。さらに年間を通して地域住民や小学校、高等学校に対しても当施設の体育館を開放している。

車いす利用者のファッションショーのWelfare-Collection（以下ウェル・コレ）を始めるきっかけとなったのは兵庫県立龍野北高等学校（以下北高）との交流行事の中でふとした利用者と生徒の会話の中から生まれた。

ある利用者が自分好みのおしゃれな帽子をかぶっていたが、服は既製のゆったりとした着やすい服を着ていた。生徒が「おしゃれな服は普段着ていないのですか」と質問すると「おしゃれな服は自分では着づらい」という答えが返ってきた。その生徒が学校に戻って障害のある方の衣服を調べてみると、機能性や利便性を第一に考えられた服はあるのだが、デザイン性が重視されていなかった。また、種類も少なく価格も高いということがわかりおしゃれができていく環境であることがわかった。

そこでその生徒が発起人となり、同校デザイン科生徒の応援を受け、障害のある方でもおしゃれができるような服を作ってみようとしたのがきっかけで北高生徒との共同でウェル・コレが動き出した。

## 実施内容

ウェル・コレ開催まで、数度にわたり福祉科の生徒と施設側とで意見交換を行った。次にこの意見をデザイン科と福祉科が話し合い、デザインを考察し、モデル出演していただく利用者の身体に合わせるために採寸を行った。その寸法と利用者の好みやデザインを持ち込み、デザイン科の生徒が服やポーチ、その他アクセサリーの作成をした。

そして完成した服を利用者に着てもらい各イベントのプログラムの一つとしてファッションショーを行うという流れである。モデル1名に対し生徒を1名ないし2名が担当についてもらい、ウォーキングやポーズを一緒に考え、それぞれ生徒とともにコメントを入れて、普段と違う雰囲気ですテージショーに参加した。

### 車いすファッションショー Welfare-Collection

実施期間・実施場所

- ①平成25(2013)年5月29日 龍野北高福祉科見学実習  
(西はりまりハビリテーションセンター体育館)  
参加者：生徒、教職員30名 利用者40名
- ②平成25(2013)年6月7日 学校デイサービス「水無月のつどい」  
(たつの市新宮ふれあい福祉会館)  
参加者：生徒、教職員60名 利用者15名 地域住民50名
- ③平成25(2013)年10月26日 龍北祭  
(兵庫県立龍野北高校体育館)  
参加者：生徒、教職員1000名 利用者20名 地域住民100名
- ④平成25(2013)年10月27日 西播磨オータムフェスタ in光都2013 (西播磨総合庁舎)  
参加者：生徒、教職員30名 利用者15名 地域住民200名
- ⑤平成25(2013)年11月30日 兵庫県障害者芸術・文化祭  
(養父市立八鹿文化会館)  
参加者：生徒、教職員30名 利用者10名 地域住民500名
- ⑥平成26(2014)年3月13日 たつの市社協龍野支部福祉フェア (たつの市総合文化会館 赤とんぼホール)  
参加者：生徒、教職員30名 利用者15名 地域住民500名

### 活動効果 (利用者や職員、地域などの反応、影響)

ウェル・コレでは、実施に向けての準備を職員主体ではなく、利用者と生徒が中心となり進めていくことにした。その結果、一年を通しての交流行事となり、より密に生徒との交流も行えた。特に今回はモデルに対して担当者をつけたことにより、利用者と生徒の交流以上に個人と個人と



生徒と利用者が一緒に準備を行う



多くの学校関係者の前でのファッションショー



施設・学校だけでなく、地域へも出向いて開催

の交流をより強くできたことが、社会参加と言う意味ではいい結果が生まれたのではないかとと思われる。

お互いの関係性ができてくるにしたがって、利用者自身が目的を持って行動していく姿が見られた。舞台上に立ち、スポットライトを浴びて主役になることによる、緊張感や成功した時の達成感を味わうことができ、どの行事よりも充実した時間を過ごせたのではないかとと思われる。交流をした学校側にも、より福祉教育が実践的なものになり、保護者からの評判も良く、ぜひ来年度も続けていきたいと言われている。

またウェル・コレを開催した反響も、ショーを見ていた一般住民からもいい反応が見られ、どんな作りをしているのか等の質問もあり、参加された利用者や地域住民との交流も多く見られた。

### 今後の展開

障害者の方に対してのおしゃれに着目し、始まったウェル・コレだが打ち合わせや本番のショーを積み重ねていく度にさまざまな方向性や可能性があると感じた。

例えば、今回は服に焦点を当てた企画だったが、わき役であった車いす用のカバンや夜間走行が可能な車いす用ポジションランプなどの車いすの付属品を重点的に制作したらどうかという視野を広げたさまざまな障害者に向けての物を制作していく案などが出てきていた。

今後は高齢者や車いす使用者以外の方がたに対象を広げていき、より多くの方に参加していただきたいと考えている。

### 主な経費や財源及び人員など

※年間あたり

主な経費(支出)	経費概算額	主な財源(収入)	財源概算額
衣装等製作費	11,167円	施設負担	11,167円
舞台演出用スロープ	60,473円	施設負担	60,473円
企画PR冊子代	42,500円	法人負担	42,500円
	円		円
合計	114,140円	合計	114,140円

- ・取り組みに係わった職員数 10名  
(職種等：施設長、生活支援員、作業療法士、理学療法士)
- ・取り組みを実施している施設の事業規模  
(平成25年度決算の事業活動収入) 191,900,000円
- ※法人全体の事業規模(同上) 2,507,200,000円